



有限会社稲村組 SDGs宣言

「至誠をもって事業に取り組み、地域社会の公器たりうる企業としてあり続け、
チームがより豊かな人生を送れることを目指す」

という経営理念のもと、事業活動を通じてSDGsの達成に貢献し、

地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2021年9月28日

有限会社稲村組

代表取締役社長 稲村 聡



重点項目(ターゲット2030)

“誠実”なものづくりから地域社会に貢献

私たちの取り組む工事は、地域の豊かな暮らしに必要不可欠であることを自覚し、全員で誠実に事業に取り組みます。今後も、地域のインフラを支え、公器たりうる存在としてもものづくりから地域社会に貢献してまいります。

【主な取り組み】

防災・減災対策工事への従事、防災対応(えひめ災害時のBCP等認定会社)、自治体との連携(官民合同パトロールへの参加等)



最良の仕事から最高の経営を目指す

「安全性を重視した仕事は、最大の強みとなり、最高のサービスに繋がる」との考えのもと、品質、安全、工程管理の更なる高度化を追求します。お客様の様々なニーズに応えられるよう日々努力してまいります。

【主な取り組み】

月1回の社内パトロールの実施、災害防止協議会の実施、無事故・品質向上に向けた工程管理

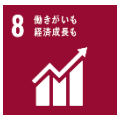


技術者の育成を通して“やりがい”を生む

技術者を育成・確保が、地域社会を守ることに繋がるとの認識のもと、やりがいのある働きやすい労働環境の整備に尽力します。教え合い、助け合い、高め合う少数精鋭の技術者集団を目指します。

【主な取り組み】

ひめボス宣言、継続学習制度(CPDS)、職人の多能工化(技能講習・特別教育の実施)、技能実習生の受入、協力雇用主制度登録、資格取得支援



環境に配慮した社会づくりを目指す

より良い環境をつくるために、環境に配慮した開発、社会づくりに努めます。環境保全に取り組む仕組みづくり、取り組みを実施するとともに、継続的に改善してまいります。

【主な取り組み】

省エネ設備の導入(低炭素型建機、ハイブリッド車、LED照明等)、資源リサイクル(木くず、金属くず、残土、コンクリート等)、適切な残土処理



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。